

南山大学 赤壁弘康

長谷川高則

2020年12月6日

南山経営研究センター ワークショップ「観光経済学」研究会

日本観光学会中部支部
観光経済経営研究会共催

以下の日程・プログラムで日本観光学会中部支部総会・研究会を開催いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

【開催日】2021年2月23日（火）

【開催方法】Zoom オンラインミーティング

Zoom にサインイン後、招待状（最終ページ p.3）に記載のミーティング ID・パスコードでミーティングに参加してください。

《お願い》

1. 日本観光学会・南山経営研究センターへの報告のための記録を残す関係上、各報告の開始5分程度を録画させていただきますので、予めご了承ください。
2. 報告がオンラインで長時間に渡るため、休憩時間を設けることができません。ブレイクアウトルーム「談話室」は、参加者同士のコミュニケーションの場、質疑応答を継続する場、報告会場からの一時退室場所として自由にご利用ください。
3. 研究報告は時間厳守でお願いいたします。報告者はビデオ・オン、マイク・オンの状態でご報告ください。報告資料の提示はZoomの画面共有でお願いします。質疑応答時間を確保するため25分で報告を終えてください。25分経過しても報告がまだ終了していない場合は、ホスト側で報告者のマイクを強制的にミュートいたします。
4. 質疑応答時まではフロアの視聴者はマイクをミュートしてください。報告中は、視聴者は画面表示をスピーカービュー¹に設定されると便利です。
5. 質問者はマイク・オン、ビデオ・オンの状態にし、最初に氏名・所属を明らかにしてください。質問事項は簡潔にお願いいたします。30分経過しても質疑応答が終了しない場合は、ホスト側で報告者・質問者のマイクを強制的にミュートいたします。質疑応答を継続される場合には、談話室に移動して続けてください。
6. 研究会の研究報告に関心をお持ちの方ならお誘い合わせの上ご参加いただいても結構ですが、セキュリティの関係上、その際は赤壁宛 akakabe@nanzan-u.ac.jp まで、お誘いいただいた方の氏名・ご所属・メールアドレスをご一報ください。

¹ <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362323-ビデオのレイアウトを変更する>

プログラム

12:45～13:00 日本観光学会中部支部総会

日本観光学会中部支部所属会員・本部役員の皆様は、Zoom サインイン後、ブレイクアウトルーム「日本観光学会中部支部総会」に移動してください。

13:00～16:00 研究報告（各報告時間 25 分、質疑応答時間 5 分）

13:00～13:30

渡辺潤爾（東海学園大学経営学部）「(仮) 戦国武将と方言の観光資源化の課題」

13:30～14:00

長原徹（芝浦工業大学工学部）「(仮) 観光による経済波及効果の推計：Go To トラベルを事例に」

14:00～14:30

倉本啓之（金沢大学大学院）・井出明（金沢大学国際基幹教育院）「COVID-19 からの輪島・能登の観光復興を目指して—能登観光における新たな経済指標の追求—」

14:30～15:00

岡本将佳（豊橋技術科学大学大学院）・渋澤博幸（豊橋技術科学大学）「熊本・大分地震の観光被害と回復の地域経済効果に関する研究」

15:00～15:30

功刀祐之（京都経済短期大学）「無電柱化による景観整備に関する研究：愛媛県内子町を事例として」

15:30～16:00

金仙淑（同志社大学）・新納克広（奈良県立大学）「観光地における交通手段選択に関する研究文献のレビュー」

16:00～16:15 観光経済経営研究会総会（研究会代表 麻生憲一）

以上